

議 事 日 程 第 6 号

令和7年6月27日（金）午前10時開議

（総務文教常任委員長報告）

- 日程第 1 議第51号 米沢市立南成中学校新設建築工事請負契約の一部変更について
- 日程第 2 議第52号 米沢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 日程第 3 議第53号 米沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 日程第 4 議第54号 米沢市市税条例の一部改正について
- 日程第 5 議第55号 米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について
- 日程第 6 議第56号 米沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 日程第 7 議第66号 財産（バス車両）の取得について

（民生常任委員長報告）

- 日程第 8 議第57号 米沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第 9 議第58号 米沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第10 議第59号 米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について
- 日程第11 請願第1号 米沢市を医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージの「重点医師偏在対策支援区域」に選定することを求める意見書提出方請願

（産業建設常任委員長報告）

- 日程第12 議第60号 道路管理瑕疵による物損事故に基づき生じた損害賠償の額の決定及び和解について

（予算特別委員長報告）

- 日程第13 議第61号 令和7年度米沢市一般会計補正予算（第1号）
- 日程第14 議第62号 令和7年度米沢市下水道事業会計補正予算（第1号）
- 日程第15 議第63号 令和7年度米沢市一般会計補正予算（第2号）
- 日程第16 議第64号 令和7年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）
- 日程第17 議第65号 令和7年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）

日程第 18 発議第 2 号 米沢市を医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージの「重点医師偏在対策支援区域」に選定することを求める意見書の提出について

日程第 19 議員派遣について

本日の会議に付した事件

議事日程第 6 号と同じ

出欠議員氏名

出席議員（24 名）

1 番	鳥	海	隆	太	議員	2 番	佐	野	洋	平	議員	
3 番	成	澤	和	音	議員	4 番	高	橋	千	夏	議員	
5 番	関	谷	幸	子	議員	6 番	佐	藤	弘	司	議員	
7 番	小	久	保	広	信	議員	8 番	影	澤	政	夫	議員
9 番	植	松	美	穂	議員	10 番	相	田	克	平	議員	
11 番	堤		郁	雄	議員	12 番	山	村		明	議員	
13 番	木	村	芳	浩	議員	14 番	島	貫	宏	幸	議員	
15 番	古	山	悠	生	議員	16 番	遠	藤	隆	一	議員	
17 番	太	田	克	典	議員	18 番	我	妻	徳	雄	議員	
19 番	山	田	富	佐	子	議員	20 番	高	橋	英	夫	議員
21 番	高	橋		壽	議員	22 番	島	軒	純	一	議員	
23 番	齋	藤	千	恵	子	議員	24 番	工	藤	正	雄	議員

欠席議員（なし）

出席要求による出席者職氏名

市	長	近	藤	洋	介	副	市	長	吉	田	晋	平
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

総務部長	神保朋之	企画調整部長	畠山淳一
市民環境部長	遠藤直樹	健康福祉部長	山口恵美子
産業部長	我妻重義	建設部長	石川隆志
会計管理者	本間加代子	上下水道部長	安部晃市
病院事業管理者	渡邊孝男	市立病院 事務局長	和田晋
総務課長	高橋貞義	財政課長	渡部真也
政策企画課長	伊藤尊史	教育長	佐藤哲
教育管理部長	土田淳	教育指導部長	山口博
選挙管理委員会 委員長	玉橋博幸	選挙管理委員会 事務局長	竹田好秀
代表監査委員	志賀秀樹	監査委員 局長	鈴木雄樹
農業委員会会長	小関善隆	農業委員 会事務局長	相田悦志

出席した事務局職員職氏名

事務局長	細谷晃	事務局次長	遠藤桂子
議事調査主査	曾根浩司	主 任	齋藤舞有
主 任	戸田修平		

午前１０時００分 開 議

○島軒純一議長 おはようございます。

ただいまの出席議員24名であります。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は議事日程第6号により進めます。

.....

日程第1 議第51号米沢市立南成中学校
新設建築工事請負契約の一部変
更について外6件

○島軒純一議長 日程第1、議第51号米沢市立南成
中学校新設建築工事請負契約の一部変更について
から日程第7、議第66号財産（バス車両）の取得
についてまでの議案7件は、議事の都合により一
括議題といたします。

この場合、総務文教常任委員会における審査の
経過と結果について報告願います。

総務文教常任委員長14番島貫宏幸議員。

〔総務文教常任委員長14番島貫宏幸議員登壇〕

○14番（島貫宏幸議員） 御報告申し上げます。

去る6月10日及び17日の本会議において、当委
員会に付託されました案件は議案7件であります。

当委員会は、議会日程に従い、6月18日の午前
10時から委員会室において、全委員出席の下、関
係部課長の出席を求め、開会いたしました。

以下、審査の経過と結果を御報告申し上げます。

初めに、議第51号米沢市立南成中学校新設建築
工事請負契約の一部変更についてであります。本
案は、令和6年6月定例会で契約の締結が議決
され、現在施工しております米沢市立南成中学校
新設建築工事について、残土処分場の変更による
運搬距離の延長、昨冬の大雪による除排雪作業の
実施及び鉄骨部材等の荷揚げに使用するクレーン
設置における安全性確保のための浅層改良に伴い、
契約金額を44億円から44億4,521万円に4,521万円

増額し、契約を変更しようとするものであります。

本案に対し、委員から、今回の変更契約にはク
レーン下部の地盤改良工事の追加による増額が含
まれている。これは大雪に伴い工事が遅延したこ
とから工数削減のために大型の重機を使用するこ
とになったのかとの質疑があり、当局から、大雪
の影響により工事に遅延が生じたことから、令和
8年4月の開校に間に合わせるためには施工方法
の見直しを行い、工期の短縮を図る必要があった。
変更後の施工方法では、大幅な工期短縮が見込ま
れる一方で、従来想定していた200トンのクレーン
での対応が困難であり、350トン相当の大型クレー
ンが必要になった。これに伴い、安全かつ確実な
施工を実現するため浅層地盤改良を実施したとの
答弁がありました。

また、委員から、これまで公共施設の建設の際、
冬期間は休工する工程を組んでいたと思うが、今
回の南成中学校建設では、そのような工程は組ま
なかったのかとただされ、当局から、工期につい
ては、例年並みの降雪を想定した上で、国が推進
する週休2日制の導入を見据える必要もあり、決
して余裕のある日程ではなく、令和8年4月の開
校に間に合わせるために冬期間を休工とする工程
を組むことはできなかったとの答弁がありました。

さらに、委員から、今回の変更契約による増額
分はどのような財源で対応するのかとの質疑があ
り、当局から、令和6年度からの繰越分と令和7
年度の予算で対応するとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、
原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第52号米沢市職員の育児休業等に関す
る条例の一部改正についてであります。本案は、
地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正
に伴い、所要の改正を行おうとするものでありま
す。

本案に対し、委員から、今回の部分休業制度の
改正により、この制度を利用する職員について、
人事評価制度の観点から影響はあるかとの質疑が

あり、当局から、勤務日数の8割程度を勤務すれば人事評価の対象となり、部分休業を取得したとしても勤務している時間帯において評価することとなるとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第53号米沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正についてであります。本案は、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部改正に伴い、所要の改正を行うほか、規定の整備を図ろうとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第54号米沢市市税条例の一部改正についてであります。本案は、地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うほか、規定の整備を図ろうとするものであります。

本案に対し、委員から、今回の条例改正によりたばこ税に関する規定も変わるが、市の税収は増える見込みかとの質疑があり、当局から、今回の改正により税収がどれくらい変わるかは不明だが、増収となることを見込んでいるとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第55号米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正についてであります。本案は、米沢市立広井郷小学校を設置しようとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第56号米沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正についてであります。本案は、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する

法律の一部改正に伴う費用弁償額の改定に準じ、選挙長等の報酬額を改定するとともに、投票立会人が半日で交代する場合の報酬額を定めようとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第66号財産（バス車両）の取得についてであります。本案は、次年度に米沢市立南成中学校及び米沢市立北成中学校が開校することに伴い、生徒の通学の負担を軽減し、安全な通学を支援することを目的としてスクールバスを運行しようとするものであります。

契約については、米沢市中田町字高橋式654番地1、太平興業株式会社米沢支店支店長 鈴木朋広と3,883万1,320円で仮契約を締結したので、本契約を締結しようとするものであります。

本案に対し、委員から、今回乗車定員が33人のバスを1台、29人のバスを3台取得するが、定員が異なるバスを取得する理由は何かとの質疑があり、当局から、スクールバスを運行するに当たり、乗車する生徒数に応じた席数の車両を購入する必要がある、対象エリアごとの生徒数を踏まえて、今回提案した車両の定員で賄えると考え取得することとしたとの答弁がありました。

また、委員から、今回随意契約となった理由は何かとの質疑があり、当局から、昨年スクールバスを取得しようとした際、指名した7者のうち6者が入札を辞退した経緯を踏まえ、今回は事前に状況を確認したところ、対象となるバスを製造しているのは1者のみであった。県内で当該1者の正規代理店は太平興業のみであったことから、本市の物品登録業者である太平興業株式会社米沢支店と随意契約で見積り合わせを行い、契約の相手方を決定したとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました議案7件の審

査の経過と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ただいまの総務文教常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第51号から議第56号まで及び議第66号の議案7件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。

よって、議第51号から議第56号まで及び議第66号の議案7件は、委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第8 議第57号米沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について外3件

○島軒純一議長 次に、日程第8、議第57号米沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正についてから日程第11、請願第1号米沢市を医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージの「重点医師偏在対策支援区域」に選定することを求める意見書提出方請願までの議案3件、請願1件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、民生常任委員会における審査の経過と結果について報告願います。

民生常任委員長1番島海隆太議員。

〔民生常任委員長1番島海隆太議員登壇〕

○1番（島海隆太議員） 御報告申し上げます。

去る6月10日の本会議におきまして、当委員会に付託されました案件は、議案3件、請願1件であります。

当委員会は、議会日程に従い、19日の午前10時から委員会室において、全委員出席の下、病院事業管理者及び関係部課長並びに請願審査においては参考人及び紹介議員に出席を求め、開会いたしました。

以下、審査の経過と結果を御報告申し上げます。

初めに、議第57号米沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正についてであります。本案は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行おうとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第58号米沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてであります。本案は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行おうとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第59号米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正についてであります。本案は、分娩管理料の上限額を改定しようとするものであります。

本案に対し、委員から、分娩管理料の上限額の改定は無痛分娩料の引上げを伴うものであるが、この引上げの理由は何かとの質疑があり、当局から、現行の料金では、かかった費用を賄うことができず、また、近隣の病院の料金との均衡を図るため、引き上げるものであるとの答弁がありました。

また、委員から、本市の出生数が急減しているが、この危機的な状況をどのように考えるかとの質疑があり、当局から、少子化対策については、子育て支援部門だけではなく、全庁を挙げて対策を検討しなければならないと考えているとの答弁がありました。

さらに、委員から、無痛分娩料が引上げとなり、経済的負担が増すが、今後は、こういった点も含めて、出生数の減少に対する全庁的な対応が迫られると思うが、どのように受け止めるかとの質疑があり、当局から、全庁的に対策を講じなければ進まない事業であり、子育て支援部門では、経済的負担の軽減と子育てに関する負担感の軽減の二本立てで考えなければならないと認識している。次期総合計画の策定においても十分に議論していきたいとの答弁がありました。

また、委員から、市立病院での無痛分娩の件数と、分娩数全体に対する無痛分娩数の割合、また、無痛分娩の場合の出産費用は幾らかとの質疑があり、当局から、令和6年度は全体の分娩数は233件、無痛分娩数は28件で、分娩数全体に対する割合は12%であった。また、無痛分娩の場合の出産費用は、正常分娩の費用50万円に現行の無痛分娩料5万円を加え、平均約55万円であるとの答弁がありました。

さらに、委員から、改正条例の施行日が9月1日であり、約2か月後に無痛分娩料が値上げされる。周知期間としては短いと考えるがどうかとの質疑があり、当局から、無痛分娩料を規定する条例施行規程の施行日も9月1日と考えていたが、委員の御意見を受け、規程の施行日を遅らせる、または、経過措置を設けるなどの対応を検討していきたいとの答弁がありました。

また、委員から、これまで分娩管理料の上限額である26万円に収まらなかったのは具体的にどのような場合があるか。また、その場合は市立病院が負担していたのかとの質疑があり、当局から、分娩管理料は条例で双子以上の場合や、診療時間

外、深夜及び休日の場合は加算すると定めており、当院が負担することはないとの答弁がありました。

さらに、委員から、無痛分娩を始めた際に分娩管理料の上限額を引き上げなかったのはなぜかとの質疑があり、当局から、当院で令和2年4月に無痛分娩を開始した際の無痛分娩料は3万円であり、その後、令和3年11月に5万円に上げたが、その時点でも分娩管理料の上限である26万円以内に収まっていたため、これまで条例の改正は行っていないとの答弁がありました。

次に、委員間討議では、委員から、無痛分娩料の値上げについては、これから市立病院にかかる妊婦には丁寧に説明し、今かかっている妊婦にはこれまでどおりの対応ができないかと思うが、この点について、ほかの委員の認識を伺いたいとの申出がありました。

これに対して、委員から、9月から急に経済的負担がかかるような状況は避けていただきたく、丁寧な対応が必要であるとの考え。

現在、市立病院にかかり出産を予定している方については、一定程度の経過措置はあったほうがよいとの考え。

市立病院で9月以降に出産を予定している方のうち、無痛分娩を希望している方がどれほどいるかによっては、約2か月の周知期間が短いとは一概には言えないのではないかと考えが示されました。

また、委員から、「母になるなら米沢市」というスローガンと整合性のある条例改正が必要だと考えるが、この点について、ほかの委員の認識を伺いたいとの申出がありました。

これに対して、委員から、子育て支援策全体としては、無痛分娩の費用を支援することは優先度が低いと思われ、無痛分娩の医療体制を今後も持続させるためには値上げも一定程度必要との考え。

出生数が増えるような政策が必要だと思うが、無痛分娩ができる万全な体制を維持していくことが大切であるとの考え。

市立病院の経営は厳しい状況であり、無痛分娩の体制に加え、子育てするなら米沢市と言えるような制度設計を求めているとの考えが示されました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願第1号米沢市を医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージの「重点医師偏在対策支援区域」に選定することを求める意見書提出方請願についてであります。本請願は、国が、人口減少よりも医療機関の減少スピードが早い地域などを重点医師偏在対策支援区域として設定し、診療所の継承や開業を支援するとしており、その選定は都道府県が行うとなっていることから、高齢化に伴う閉院が相次ぎ、今後医師不足が進行すると考えられる本市を重点医師偏在対策支援区域に選定することを求め、県に対して意見書を提出していただきたいとするものであります。

審査に先立ち、参考人から意見を聴取し、紹介議員から補足説明を受け、審査に入りました。

本請願に対し、委員から、本市において医師不足や医師の偏在が起きている原因をどう考えているかとの質疑があり、参考人から、山形県で医師が不足する要因として、山形大学医学部の卒業生が県内で勤務したり開業したりする状況になく、地元への定着率が低いことが挙げられる。また、小児科を例とすると、少子化で子供の数が減少している中で、人口の多いところを開業したいと思うのは当然であり、県内では開業控えが起こりやすいと思われるとの答弁がありました。

また、委員から、重点医師偏在対策支援区域は地域医療対策協議会で選定するが、その構成員に対し、本市の実情を伝える活動はしているのかとの質疑があり、参考人から、米沢市医師会としては、構成員である米沢市立病院長などと日頃から開業医不足や市立病院の医師不足などについて議論しており、協議会の場でも説明いただいているものと思っているが、これからも本市の実情を伝

えていただくようお願いしていきたいとの答弁がありました。

さらに、委員から、重点医師偏在対策支援区域に選定されると、施設整備や地域への定着に対する支援が受けられるが、これによって実際に開業しようと思っただけだと考えているかとの質疑があり、参考人から、どのくらい効果があるかは分からないが、何かをしなければ開業医の減少が続くとの危機感で動いており、このような努力が結果につながるのではないかと考えているとの答弁がありました。

また、委員から、開業医に対して米沢市医師会で行っているサポートはあるかとの質疑があり、参考人から、年会費を2年間免除するとともに、入会費の徴収を1年間延期し、米沢市医師会に入りやすい条件を設定したとの答弁がありました。

さらに、委員から、重点医師偏在対策支援区域について、本市の取組として今後どのように進めていくのかとの質疑があり、当局から、このことは市の重要事業要望に上げており、県へ要望に行くこととしている。今後、市としても支援の体制を整えていきたいと考えているとの答弁がありました。

採決に当たっては、本市及び米沢市医師会としても、地域を挙げて、医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージのモデルとなるように取り組んでいくことが大切であり、今の本市の状況を考えると、一刻も早く診療所の数を確保し、維持向上させていくことが何よりも大切であることから、本請願に賛成するとの意見がありました。

本請願については、全委員異議なく、採択すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました議案3件、請願1件の審査の経過と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ただいまの民生常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第57号から議第59号まで及び請願第1号の議案3件、請願1件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。

よって、議第57号から議第59号まで及び請願第1号の議案3件、請願1件は、委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第12 議第60号道路管理瑕疵による物損事故に基づき生じた損害賠償の額の決定及び和解について

○島軒純一議長 次に、日程第12、議第60号道路管理瑕疵による物損事故に基づき生じた損害賠償の額の決定及び和解についてを議題といたします。

この場合、産業建設常任委員会における審査の経過と結果について報告願います。

産業建設常任委員長19番山田富佐子議員。

〔産業建設常任委員長19番山田富佐子議員登壇〕

○19番(山田富佐子議員) 御報告申し上げます。

去る6月10日の本会議において、当委員会に付託されました案件は、議案1件であります。

当委員会は、議会日程に従い、6月20日の午前10時から委員会室において、全委員出席の下、関係部課長に出席を求め、開会いたしました。

以下、審査の経過と結果について御報告申し上げます。

議第60号道路管理瑕疵による物損事故に基づき

生じた損害賠償の額の決定及び和解についてであります。本日は、道路管理瑕疵による物損事故に基づき生じた損害賠償について、損害賠償の額を決定し、和解しようとするものであります。

本案に対し、委員から、今回の事故現場を事故の約1か月前にパトロールした際には、穴は見つからなかったとの説明があったが、道路通行には問題ない状況だったのかとの質疑があり、当局から、事故の約1か月前に現場を確認しており、その際は通行に支障がない程度のひび割れがあったとの報告を受けているとの答弁がありました。

また、委員から、事故が起きた直後に警察の現場検証は行われたのかとの質疑があり、当局から、被害者は事故後、警察に連絡せずにレッカーで車を山形市の整備工場に移動しており、警察でも、現場から車が動いているので交通事故証明書は出せないとのことだったとの答弁がありました。

さらに、委員から、事故後に車をレッカー移動したとのことだが、どのような経緯だったのかとの質疑があり、当局から、被害者は、事故後、自走したが、異常を感じて200メートルほど先で車を止め、整備工場までレッカー移動したとの答弁がありました。

また、委員から、市の担当者は事故車両の修理前の状況を目視で確認したのかとの質疑があり、当局から、被害者は、1月22日に市役所に来庁し事故について申し立てたが、事故車両は山形市の整備工場にあったため、車両の状況は1月23日に本人が撮影した写真を送ってもらい確認したとの答弁がありました。

さらに、委員から、工事の場合、着手前と完成後に加え、工事の過程で写真を撮り、誰もがその写真で判定できるようにするが、今回の事故車両の写真で判断するのはなかなか難しい。その辺をしっかりと判断できるような状況をつくるべきではないかと思うがどうかとの質疑があり、当局から、今回、証拠となる写真等の資料が不足していたことから、今後はしっかりと対応したいとの答弁が

ありました。

また、委員から、公的に補償していく中で、今回は、どういう状況だったかを判断するのに必要な資料が足りない。これは今後改善しなければならないと思うがどうかとの質疑があり、当局から、物損事故があった場合は、それが道路の破損箇所によるものかをドライブレコーダーの映像や警察の交通事故証明書等があれば、それにより確認している。今回は、レッカー移動したことを書面上で確認する必要があったと考えている。また、写真については、通常、市職員が実際に車両を見て、様々な方向から撮影し、事故報告書をまとめて保険会社に提出しているが、今回は写真が不十分であった。今後、他市町村の状況を確認しながら、対応を検討したいとの答弁がありました。

さらに、委員から、道路の穴への落下によって車両が破損したと推定した根拠について質疑があり、当局から、車両の初度登録は平成28年で、被害者が登録したのは事故の約3週間前の令和6年12月27日であった。被害者は車両を正規ディーラーから認定中古車として購入しており、購入時に不備はなかったと判断し、車両の破損は今回の事故によるものと推定したとの答弁がありました。

また、委員から、市の過失割合は50%だが、これはどのように決まったのかとの質疑があり、当局から、損害保険会社に今回の事故状況等を伝えたところ、道路管理者の瑕疵と運転者の不注意があったことや過去の類似する事故の判例に基づいて、市の過失割合は50%が適正であるとの助言を受け、そのように判断したとの答弁がありました。

さらに、委員から、これまでも道路管理瑕疵で事故があったと思うが、市の過失割合は、ほとんどが50%だったのかとの質疑があり、当局から、運転者が気づかないような道路瑕疵の場合は、市の過失割合が100%になることもあるが、道路瑕疵が分かりやすい場合は、市の過失割合が50%より低いこともあるとの答弁がありました。

次に、委員間討議では、委員から、今回、議案

を審査する上で必要な写真等の資料が不足していると感じた。今後、当局には、きめ細かな資料を提出していただきたいと考えるが、この点について、ほかの委員の認識を伺いたいとの申出がありました。

これに対して、委員から、今回は、資料が不足していると感じた。どのような資料が必要かを判断できるルールを当局でつくるべきではないかとの考え。

また、修理前、修理中、修理後の状況について、誰が見ても分かりやすい写真を添付してもらうように、今後、当局にルールを定めてもらうのがよいとの考えが示されました。

採決に当たっては、直接、市で事故車両を確認しておらず、修理前後の写真をしっかり撮っていなかったと思うが、当局として、最低限の対応は取っており、市の瑕疵が相当分あったと確認できたことから、本案に賛成するとの意見がありました。

本案については、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました議案1件の審査の経過と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ただいまの産業建設常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第60号を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。

よって、議第60号は、委員長報告のとおり決まりました。

日程第 13 議第 61 号令和 7 年度米沢市
一般会計補正予算（第 1 号）
外 4 件

○島軒純一議長 次に、日程第13、議第61号令和7年度米沢市一般会計補正予算（第1号）から日程第17、議第65号令和7年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）までの議案5件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、予算特別委員会における審査の経過と結果について報告願います。

予算特別委員長13番木村芳浩議員。

〔予算特別委員長13番木村芳浩議員登壇〕

○13番（木村芳浩議員） 御報告申し上げます。

去る6月10日及び17日の本会議において、当予算特別委員会に付託されました案件は、議案5件であります。

当委員会は、議会日程に従い、23日午前10時から議場・委員会室において、全委員出席の下、当局から市長をはじめ、教育長、関係部課長等にも出席を求め、審査を行いました。

なお、議案の内容につきましては、市長の説明要旨や事項別明細書等で全議員御承知のことと存じますので、その説明を省略させていただき、以下、審査経過の中でありました質疑の主なものと、その結果を取りまとめて御報告申し上げます。

初めに、議第61号令和7年度米沢市一般会計補正予算（第1号）の歳出につきましては、補正予算の提案があった款項のほか、事前に発言通告のあった款項についても質疑が行われました。

まず、第4款衛生費では、置賜広域行政事務組合清掃事業所費につきまして、解体する米沢クリーンセンターの跡地は、立地的に非常に優れた場所にあると思うが、本市として将来的なビジョンを持ち、活用への対応を考えていくべきではないかとして質疑がありました。

第7款商工費では、商業振興事業費等につきまして、物価高、値上げが続いているが、本市の商工業に関する景況をどのように把握、認識しているのかとして質疑がありました。

事前の発言通告があった第10款教育費では、児童生徒を熱中症から守る対策として、昨年度、様々な対策を行ったが、今年度変更または見直した点はあるのか。また、児童が水筒を首や肩にかけた際に転倒して内臓等を損傷する事故が全国的に発生しているが、児童や保護者に対して周知は行っているのか。学校内に冷水器を設置すべきではないか。さらに、現在建設中の南成中学校の体育館は避難所にもなっていることから国の補助金を活用し、優先的に空調設備を整備することができないかとして質疑がありました。

また、事前の発言通告により、給食の食べ残しはどれくらいあるのか。また今後給食センターでの残渣量をどれくらいと予想しているのか。さらに食べ残し量を把握し、献立及び食育に生かしてもらいたいのかとして質疑がありました。

さらに、事前の発言通告により、座の文化伝承館について多額の寄附の申出があると聞いているが、今後改善等にどのように活用されるのか。また周辺の価値を向上させるために、NHK放送所跡地、菱門橋の改修とともに、国土交通省のまちなかウォークアブル推進事業に関連する施策を活用するなど、全庁的に踏み込んだ検討を進めてもらいたいのかとして質疑がありました。

以上が議第61号令和7年度米沢市一般会計補正予算（第1号）に対する審査の経過の中でありました質疑の主なものでありますが、議第61号につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第62号令和7年度米沢市下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、質疑もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第63号令和7年度米沢市一般会計補正

予算（第2号）の歳出であります。第4款衛生費では、個別接種事業費について、追加資料で提出された中身には重要なことが書かれている。行政として誠実に情報周知に努めなければならないと思うがどうかとして質疑がありました。

次に、第6款農林水産業費につきまして、補正のあった款項に関連し、令和の米騒動と言われており、その要因は作付、収量が減ったためと言われているが、現在の状況、また新規就農者の傾向はどうか。また、他市町村では米クーポンや米を配布しているが、本市についても施策を講じる考えはないのかとして質疑がありました。

以上が議第63号令和7年度米沢市一般会計補正予算（第2号）に対する審査の経過の中でありました質疑の主なものでありますが、議第63号につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第64号令和7年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）につきまして、子ども・子育て支援金制度に対する市民理解の広まりはまだまだだと感じている。制度についての市民への周知はどのように行っていくのかとして質疑がありましたが、議第64号につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第65号令和7年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）につきましては、質疑もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

以上、当予算特別委員会に付託されました議案の審査経過の概要と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ただいまの予算特別委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第61号から議第65号までの議案5件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。

よって、議第61号から議第65号までの議案5件は、委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第18 発議第2号米沢市を医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージの「重点医師偏在対策支援区域」に選定することを求める意見書の提出について

○島軒純一議長 次に、日程第18、発議第2号米沢市を医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージの「重点医師偏在対策支援区域」に選定することを求める意見書の提出についてを議題といたします。

この場合、提出者から提案理由の説明を求めます。

提出者、2番佐野洋平議員。

〔2番佐野洋平議員登壇〕

○2番（佐野洋平議員） ただいま上程になりました発議第2号米沢市を医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージの「重点医師偏在対策支援区域」に選定することを求める意見書の提出についてであります。本案は、国が人口減少よりも医療機関の減少スピードが早い地域などを重点医師偏在対策支援区域と設定し、診療所の継承や開業を支援するとしており、その選定は都道府県が行うとなっていることから、高齢化に伴う閉院が相次ぎ、今後、医師不足が進行すると考えられる本市を重点医師偏在対策支援区域に選定することを求め、県に対して意見書を提出しようとするも

のであります。

以下、意見書案を朗読して、提案理由の説明に代えさせていただきます。

〔別紙 発議第2号朗読〕

以上であります。議員各位の御賛同をお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

○島軒純一議長 ただいまの説明に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

次に、議員間討議を行います。議員間討議の御希望はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 なければ、議員間討議を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

発議第2号を原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。

よって、発議第2号は、原案のとおり決まりました。

.....

日程第19 議員派遣について

○島軒純一議長 次に、日程第19、議員派遣についてを議題といたします。

議員派遣につきましては、会議規則第167条第1項の規定により、配付しておりますとおり決定いたしますので、御了承願います。

.....

市長挨拶

○島軒純一議長 以上で、本定例会に付議されました案件は全部議了いたしました。

閉会前に、市長から発言を求められておりますので、これを許可します。近藤市長。

〔近藤洋介市長登壇〕

○近藤洋介市長 市議会6月定例会の閉会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

去る6月10日に招集いたしました本定例会は、本日、全日程を終了いたしました。18日間にわたる会期中、提出いたしました案件につきまして、終始真剣な御審議をいただき、厚く御礼申し上げます。

審議の過程で賜りました重要な御指摘、御意見等につきましては、十分に受け止めまして、可能な限り市政執行に反映をしていきたいと考えております。

さて、今定例会におきましては、上杉邦憲氏に名誉市民の称号を贈ることについて、議員各位の御同意を賜りました。上杉氏におかれましては、皆様御存じのとおり、本市の歴史と文化の振興に大いに寄与されたのはもちろんのこと、学術活動におかれましても、宇宙工学分野での御功績が世界的に評価されているところであります。

上杉氏の世界的な御活躍は、本市の誇りであり、また、子供たちにとっては大変な励みになるものと思われまします。

次世代を担う本市の子供たちが、未来という広い宇宙にロケットのように飛び立ち、「はやぶさ」のように一人一人が輝くものをつかみ、成長したおのおのの力を本市で発揮していただくためには、まずは安心して成長できる環境づくりが重要と考えます。小中学校の再編統合や小中学校の給食の体制の整備等の子育て・教育環境の充実に向けて、引き続き取り組んでまいりたいと思います。

一方で、世界的な物価高騰の影響を受け、経済

活動や市民生活は厳しい状態にあります。今後の状況を注視し、場合によっては緊急の予算措置等の対応が必要となることも考えられます。議員各位の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

これから夏本番を迎えます。結びに、議員各位の御健勝をお祈り申し上げ、御礼の挨拶といたします。

ありがとうございました。

.....

閉 会

○島軒純一議長 これをもちまして令和7年6月定例会を閉会いたします。

午前11時00分 閉 会